



2012年6月19日

**メラノックス社とBon Trade社、RDMAを使用する
Windows Server 2008 R2でのベンチマークで、
1秒あたり5億9,800万件以上のメッセージ転送を実現**

**メラノックスのFDR 56Gb/s InfiniBandインターコネクソソリューションにより、HP Proliant Gen8サーバ間のRDMAメッセージングのテストで
新たなベンチマーク記録を達成**

データセンターにおけるサーバやストレージシステム向けにエンドトゥエンドの接続ソリューションを提供するトップベンダーであるメラノックステクノロジーズ社 (Mellanox® Technologies, Ltd., NASDAQ: [MLNX](#); TASE: [MLNX](#)) は、本日、テキサス州ヒューストンにあるヒューレット・パッカード社のローレイテンシーラボで実施したベンチマークで、1秒あたり5億9,800万件のメッセージ転送の記録を達成したことを発表しました。メラノックス社とBon Trade Solutions社によるこのベンチマーク結果は、Windows Server 2008 R2が稼働するHP Proliant Generation 8 (Gen8)サーバ間をメラノックスのInfiniBandネットワークで接続した環境で、エンタープライズトレーディングシステムおよびプリトレードリスク管理システムで使用されるRDMAメッセージングテストを実施し、達成されたものです。

このテストでは、マイクロ秒一桁台の超低レイテンシーおよび1秒あたり5億9,840万件という驚異的なメッセージ転送レートが実現されています。さまざまなワークロード

メラノックス社とBon Trade社、RDMAを使用するWindows Server 2008 R2でのベンチマークで、
1秒あたり5億9,800万件以上のメッセージ転送を実現

- 2 -

のシナリオに基づくテストでは、メラノックスの SwitchX®シリコンを搭載する FDR 56Gb/s InfiniBand スイッチに接続された、2つのメラノックス ConnectX®-3 InfiniBand アダプタによってもたらされる高バンド幅の優位性が実証されました。このテストでは、2台の HP Proliant DL 380 Gen8 サーバ各々に搭載されている 16 プロセッサコアがすべて使用されています。今回実施したテストの詳細については、
www.bon-trade.com/mellanox をご参照ください。

Bon Trade の RMC RDMA メッセージングによって、数々のメリットが顧客にもたらされます。極めて高いメッセージ転送率を実現していることで、Bon Trade はプリトレードリスクを算出するために膨大な量の相場データを処理することが可能になります。また、RMC メッセージングによってシステムの可用性が向上し、電子取引コミュニティから一気に送信される膨大な量の注文を処理することができます。InfiniBand ネットワークで RDMA を使用することにより、高可用性システムに必要な不可欠なネットワークホップのレイテンシーが大幅に低減されます。このため、顧客からの注文はわずか数マイクロ秒の間に確実に処理され、注文の実行率が向上します。この新しいテクノロジーを活用することによって、従来の半分のサーバでエンタープライズトレーディングシステム全体を展開可能となるため、データセンターのフットプリントを大幅に削減することが可能となります。

Bon Trade SolutionsのチーフシステムアーキテクトThomas McSherry氏は、“メラノックスのInfiniBandハードウェアでRDMAを活用することのメリットのひとつに、データパスの独立性が挙げられます。メッセージのスループットは、16のコアすべてにわたりほぼ完璧にスケールアップされることが実証されました。Bon Tradeは、メッセージのソース側と転送先のCPUクロック速度を入力することで、事実上メッセージ転送率

メラノックス社とBon Trade社、RDMAを使用するWindows Server 2008 R2でのベンチマークで、
1秒あたり5億9,800万件以上のメッセージ転送を実現

- 3 -

を予測できるようになりました。メッセージフローの振る舞いは、液体の流れのようなもので予測不可能でした。このような予測可能性およびメラノックスのハードウェアにおけるRDMAのマイクロ秒一桁台の超低レイテンシーは、Bon Tradeの顧客からの注文の実行率向上に直結するものだと言い換えることができます。さらに、データパスの独立性によって、顧客の要件と予算に合ったシステムを予測的に構築および設定することも可能になります”と語っています。

マイクロソフト社の銀行取引および資本市場担当ワールドワイドマネージングディレクタ Joe Pagano氏は、“今回達成された素晴らしい成果は、超ハイパフォーマンスおよび低レイテンシーのトレードメッセージングの実現に向けた、マイクロソフト、メラノックステクノロジーズならびにBon Trade Solutionsの緊密な連携が実を結んでいることを示しています。総所有コストを抑制しながらトレード効率の最大化を求める顧客のニーズに応えるため、我々3社が総力を挙げて取り組んだことの証だといえます”と語っています。

メラノックステクノロジーズ社事業開発担当アミア・プレシャは、“Windows Server 2008 R2にRDMAの能力が追加されたことで、ISVおよびトレーダ企業に新たなビジネスチャンスが数多くもたらされます。メラノックスは、マイクロソフトならびにBon Tradeと共同で、ハイフリークエンシーレーディングおよび電子取引のコミュニティに最適な、これまでにないメッセージ転送率、低レイテンシーおよび優れたスケーラビリティをWindows Server 2008 R2上で提供するシステムを作り上げたのです”と述べています。

関連情報

メラノックス社とBon Trade社、RDMAを使用するWindows Server 2008 R2でのベンチマークで、
1秒あたり5億9,800万件以上のメッセージ転送を実現

- 4 -

- [Bon Trade が公開中のベンチマーク詳細レポート](#)
- メラノックス InfiniBand [スイッチ](#)および[アダプタカード](#)
- メラノックスソフトウェア：[スイッチ管理](#)および[ストレージファブリック](#)
- メラノックス[銅ケーブル](#)および[光ケーブル](#)
- [メラノックス金融取引向けソリューション](#)
- [Twitter](#)、[Facebook](#) でメラノックスの最新情報をご確認ください。

Bon Trade Solutionsについて

Bon Trade Solutionsは、プレトレードリスク管理対応のオーダールーティングゲートウェイ、およびトレードライフサイクルプロセスを補完するさまざまな製品を提供する革新的な独立系ソフトウェアベンダーです。Bon Tradeの実績豊富なシステムは、グローバルな電子取引市場における現在および将来のニーズに応えるデザインがなされています。Bon Tradeの詳細な情報は、www.bon-trade.comをご参照ください。

メラノックスについて

メラノックステクノロジーズ社は、サーバやストレージを対象に InfiniBand ならびに Ethernetのエンドトゥエンド接続ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。メラノックス社の製品により、データセンターのパフォーマンスが最適化され、業界をリードするバンド幅、スケーラビリティ、低消費電力、高い対費用効率が可能になるとともに、複数のレガシーネットワークテクノロジーを将来性も考慮されたアーキテクチャに統合することも可能になります。メラノックス社は HPC、一般企業、メガウェアハウスデータセンター、クラウドコンピューティング、Internet、Web 2.0 といったさまざまな市場向けに革新的な製品、ソリューションを提供しています。

メラノックス社とBon Trade社、RDMAを使用するWindows Server 2008 R2でのベンチマークで、
1秒あたり5億9,800万件以上のメッセージ転送を実現

- 5 -

メラノックステクノロジーズは 1999 年に創設され、サニーベール（米国カリフォルニア州）、ヨクニウム（イスラエル）に本社を構えます。メラノックステクノロジーズに関する詳しい情報は、www.mellanox.co.jp または www.mellanox.com でご確認ください。

###

Mellanox, BridgeX, ConnectX, CORE-Direct, InfiniBridge, InfiniHost, InfiniScale, PhyX, SwitchX, Virtual Protocol Interconnect, Voltaire はメラノックステクノロジーズ社の登録商標です。FabricIT, MLNX-OS, Unbreakable-Link, UFM, Unified Fabric Manager はメラノックステクノロジーズ社の商標です。記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。